

5-13 南海トラフ（銭洲沖）の海底地形

Submarine Topography of the Nankai Trough, off Zenisu

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

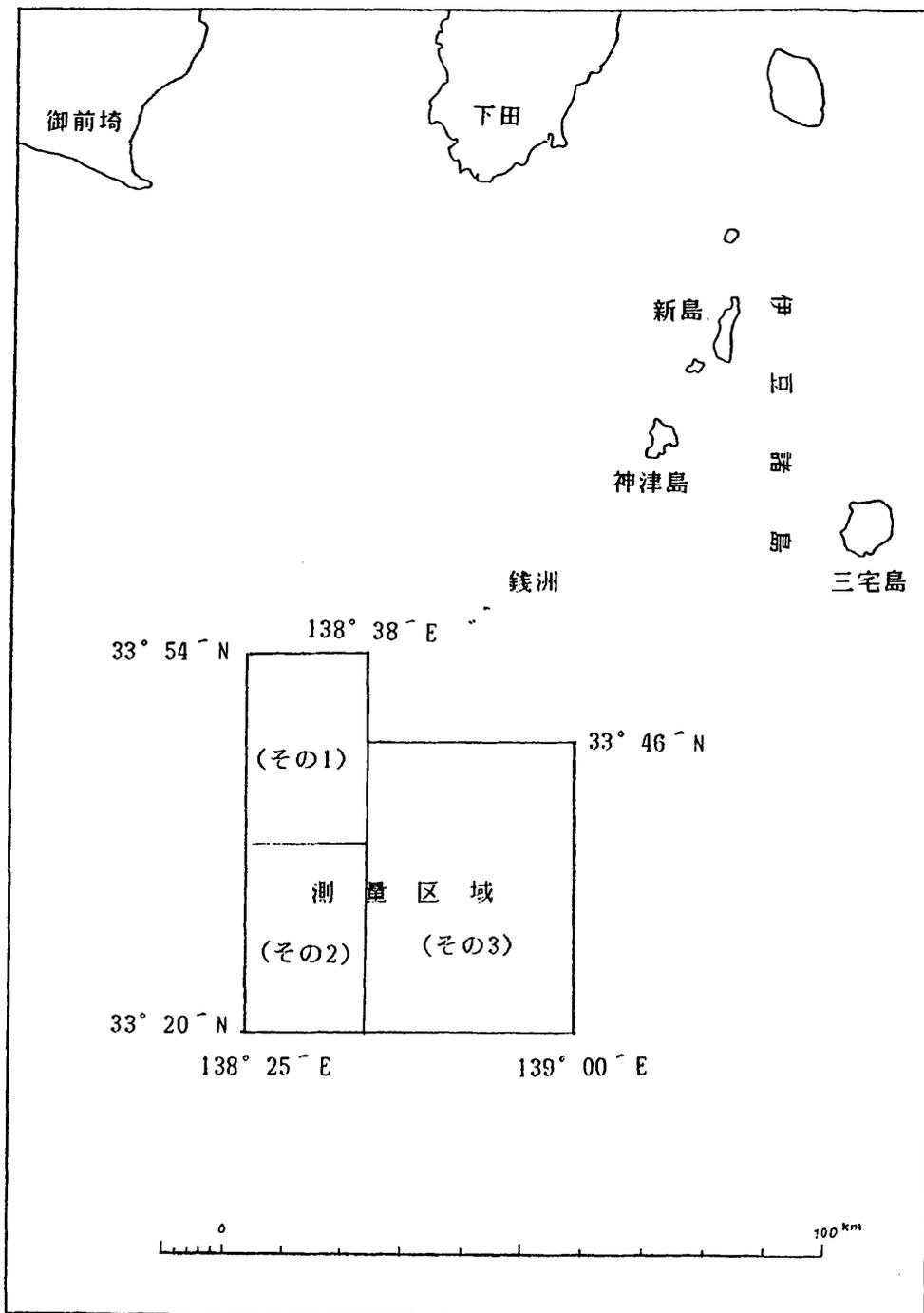
海上保安庁水路部では、平成2年1月に測量船「拓洋」によりナローマルチビーム測深機（シービーム）を用いて、銭洲南方海域の海底地形調査を実施した（第1図）。測線間隔は約0.5～1海里とし、測線方向は東西方向とした。

今回の調査で得られた全体の海底地形図を第2図に、それぞれの海底地形図を第3～5図に示す。海底地形の概略は、海域の北西側から順に南海トラフ、銭洲海嶺、四国海盆及び東側の西七島海嶺に大別できる。また、銭洲海嶺に沿って南下する顕著な銭洲海底谷、四国海盆内の銭洲沖海山等がある。

銭洲海嶺は、新島、神津島及び銭洲を経て南西方向に伸びる海嶺で、頂部水深は南西方向に深くなる。また、南海トラフ及び四国海盆からの深みにより数か所の高まりにわけられている。

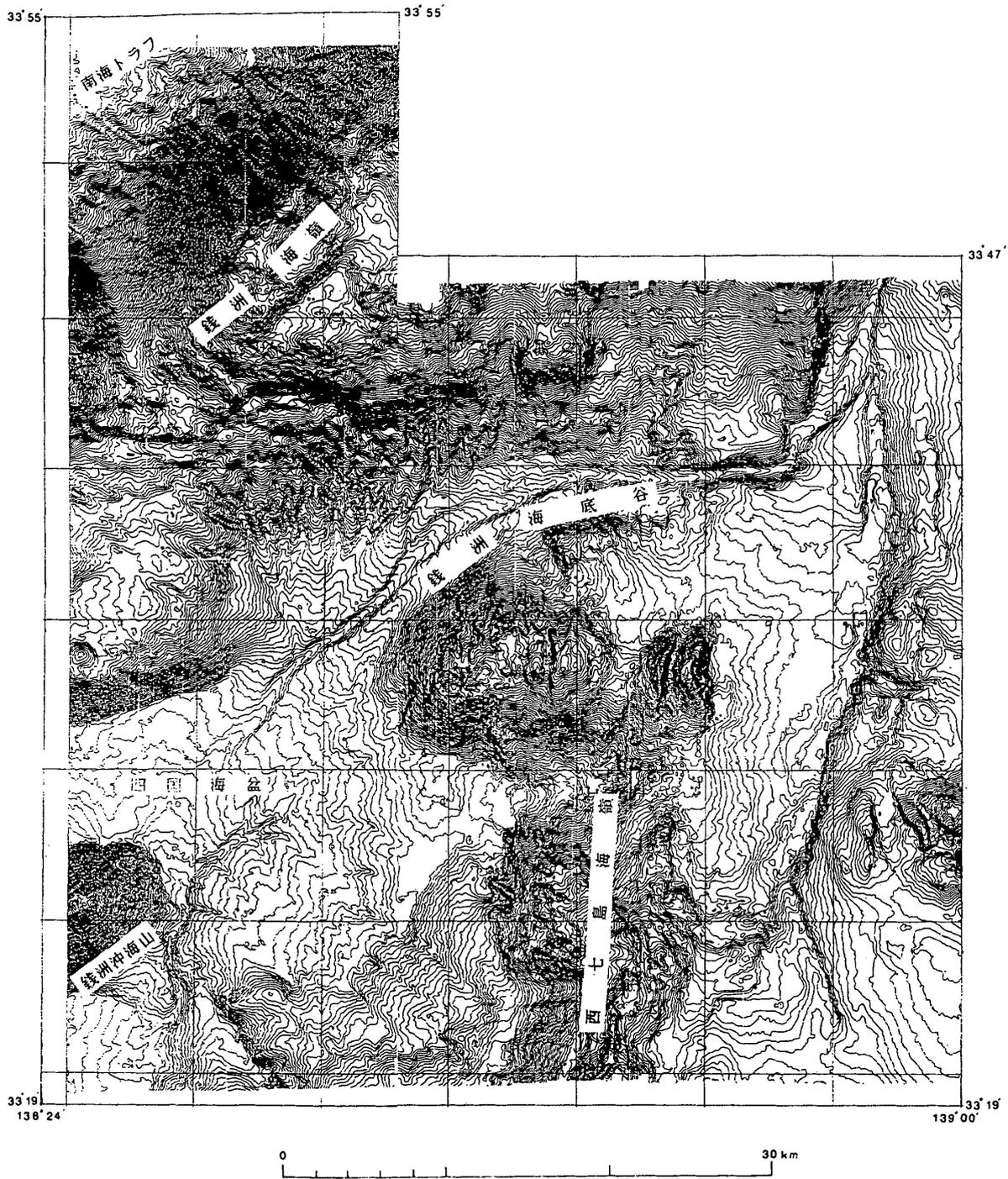
銭洲海嶺から南海トラフに至る大陸斜面には、小さな海底谷がみられるが、全体としては単純な急斜面を形成し水深約3600mで南海トラフ底に至る。銭洲海嶺から四国海盆に至る大陸斜面は、南海トラフ側斜面より緩傾斜である。ここには南北ないし北西～南東方向の多数の海底谷がみられ、銭洲海底谷に合流する。また、西七島海嶺から四国海盆に至る大陸斜面にも北西～南東あるいは北東～南西方向の多数の海底谷がみられ、四国海盆に達する。銭洲海底谷は、海底谷のうちで最も顕著で、神津島南方に谷頭をもち水深2100m付近で見掛け上2つに分岐している。一方は、向きを南北から南西方向に変えて銭洲海嶺に沿って南下し、四国海盆底を刻んで水深3600m付近まで達する。他方は、東側斜面の急崖に沿って南下し水深2300mに達する凹地を形成している。この凹地は約50mの深さで、南北に約30kmにわたり細長い溝状の地形で、東側斜面も直線状の急崖をなしていることから同方向の断層が推定される。両海底谷の分岐点の南端は水深2100～2400mの南北に細長いトラフ状の平坦面を形成し、南に向ってやや浅くなっており、西七島舟状海盆に続いている。また、この平坦面の西縁には、頂部水深1650m、比高約600mの海丘、及び頂部水深1710m、比高約1300mの海山があり、いずれも頂部付近は南北方向の凹地により2つあるいは3つに分断された特異な地形を示すことから、同方向の断層が推定される。西七島海嶺は、この平坦面の西縁から海丘あるいは海山を形成して南方に伸びている。

調査海域には四国海盆の北東端が含まれる。この中には銭洲沖海山が位置している。銭洲沖海山は、頂部水深2180m、比高1300～1600mである。海山の西縁は測量区域外であるが、北東-南西方向に長軸をもつ楕円錐形を示し、海山の北西側斜面は急傾斜、南東側斜面はやや緩傾斜となっている。また、この海山の周縁は、麓をとりまく3500～3800mの凹地（モート）が認められ、銭洲海底谷および西七島海嶺からの海底谷がこのモートに集まっている。



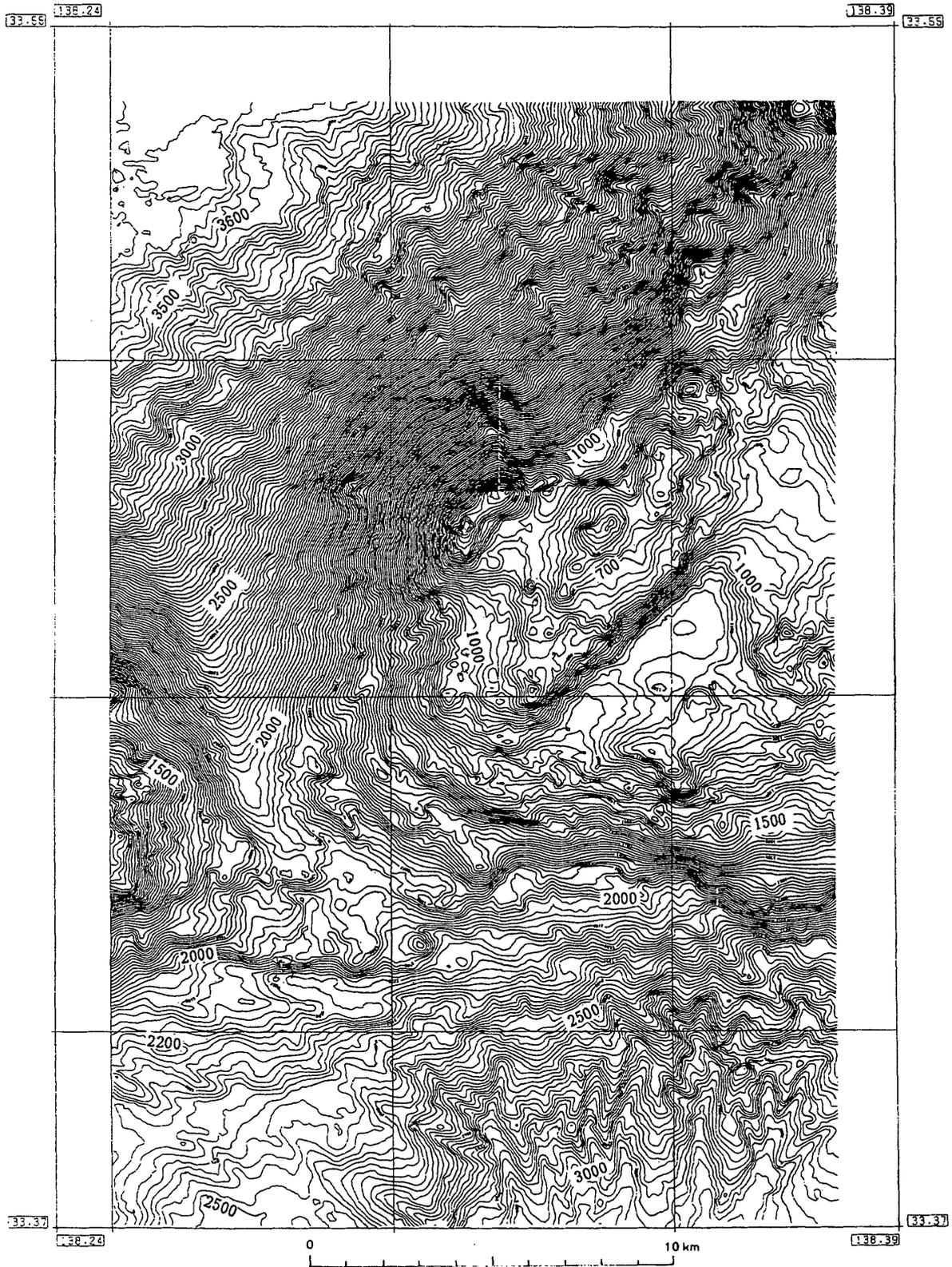
第1図 測量区域

Fig. 1 Survey area



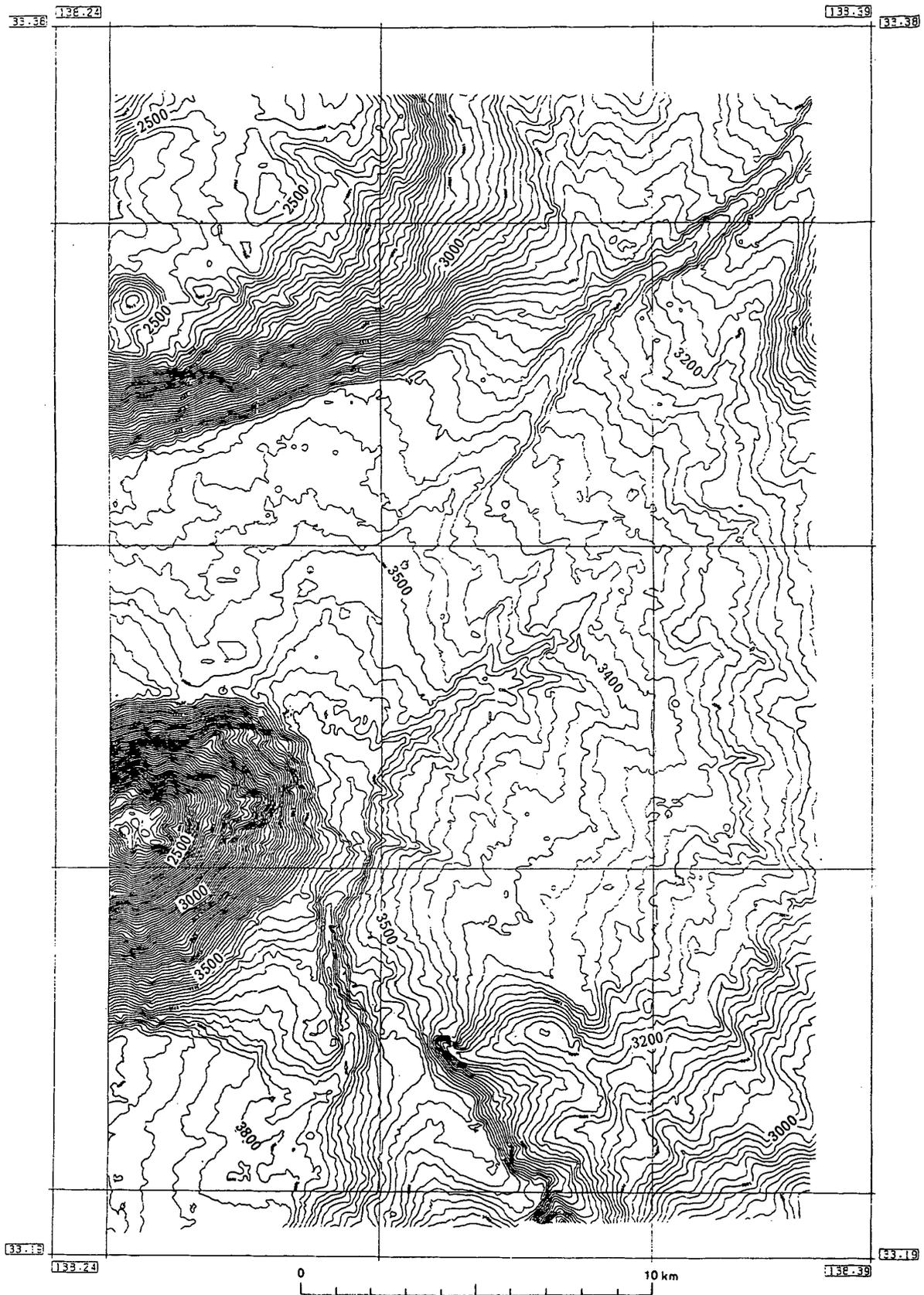
第2図 南海トラフ（銭洲沖）海底地形図，等深線間隔：1000m以浅は10m，
1000m以深は20m

Fig. 2 Bathymetric Chart of the Nankai Trough, off Zenisu.
Contour interval: 10 m (shallower than 1000 m)
20 m (deeper than 1000 m)



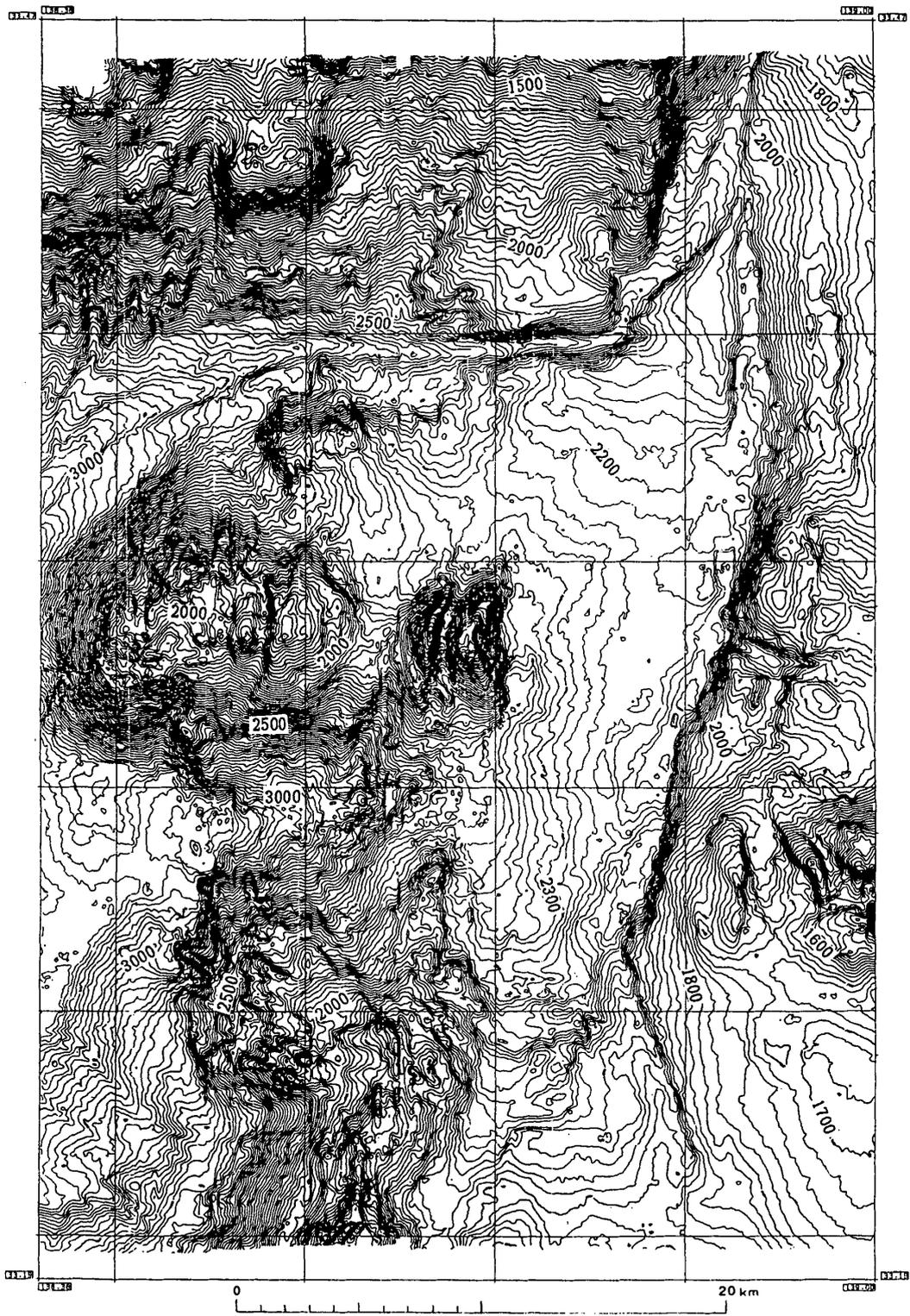
第3図 南海トラフ（銭洲沖）海底地形図(1), 等深線間隔：1000m以浅は10m,
1000m以深は20m

Fig. 3 Bathymetric Chart of the Nankai Trough, off Zenisu (I).
Contour interval: 10 m (shallower than 1000 m)
20 m (deeper than 1000 m)



第4図 南海トラフ（銭洲沖）海底地形図(Ⅱ)，等深線間隔：20m

Fig. 4 Bathymetric Chart of the Nankai Trough, off Zenisu (II).
Contour interval: 20 m



第5図 南海トラフ（銭洲沖）海底地形図(m), 等深線間隔：20m

Fig. 5 Bathymetric Chart of the Nankai Trough, off Zenisu (III).
Contour interval: 20 m